

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和 5年 1月 24日

事業所名: すまいる・きつづ

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2021年よりサンルームを含め、4つの部屋を、それぞれプログラム、課題、余暇等に分かれて指導訓練スペースを確保している。	はい: 78.6% どちらともいえない: 7.1% いいえ: 0% わからない: 14.3%	送迎は事業所が行っている為、保護者が見やすいよう、プログやおたよりで活動や部屋の様子を周知していく。
	2 職員の適切な配置	前年と変わらず職員の配置は法定で定められた職員数以上を確保している。有資格者を中心にプログラムや学習、支援を実施している。	はい: 75.0% どちらともいえない: 10.7% いいえ: 0% わからない: 14.3%	今後も、法定で決められた職員の配置を継続し、よりよい支援に繋げていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	児童に分かりやすく一日のスケジュールを視覚支援を用いて伝えている。入り口から玄関までの階段、玄関内の段差があるためバリアフリーとは言い難い。	はい: 75.0% どちらともいえない: 3.6% いいえ: 0% わからない: 21.4%	建物の構造上バリアフリー化が困難な箇所があることを見学時に保護者に伝えている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒を行い、清潔を保っている。子どもたちが過ごしやすいよう環境整備を行っている。コロナ禍に伴い、アルコールによる消毒箇所を増やし、換気も徹底している。30分に一回、職員、子ども達ともにアルコール消毒を行っている。	はい: 89.3% どちらともいえない: 3.6% いいえ: 0% わからない: 7.1%	日々、朝礼時に清掃や消毒など担当を決め、漏れなく行っている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の朝礼、終礼を通して現場での動きや対応などの改善点を話し合い、常勤、非常勤に関わらず、各自が主体者となって目標設定と振り返りを行っている。		イベントなどの活動も再開してきているので、ヒヤリハットや連絡事項をミーティングなどを行い、情報共有を行っている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	別事業所と月に一回会議を行ったり、合同でイベントを行ったりする中で、互いに意見を出し合い、業務改善に繋げている。		今後も継続して、会議やイベントで得た情報や意見を活用して業務改善に勤める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的に常勤、非常勤に関わらず事業所内研修を行い、研修の機会を設けている。		コロナ禍の為、オンラインを活用して職員への研修の機会を定期的に設けていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	新たなアセスメントシートを用いて保護者との聞き取りの際の参考とさせていただき、より保護者や子どもたちのニーズに則った支援計画を作成している。	はい: 100% どちらともいえない: 0% いいえ: 0% わからない: 0%	今後も継続して、保護者との子ども達のと関係作りを深め、よりよい支援計画作成に取り組む。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	前年同様、放課後等デイサービス計画作成のための担当者会議を毎月開き、職員間での情報共有を行い、子ども達のニーズに応じた支援内容を計画している。	はい: 100% どちらともいえない: 0% いいえ: 0% わからない: 0%	今後も保護者や子ども達と連携を取り、子どもの発達状況に応じた計画の作成を行っていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	担当者会議の中でアセスメントシートや検査結果を読み取り、必要な支援や具体的な支援内容を職員間で話し合い、放課後等デイサービス計画に記載している。	はい: 100% どちらともいえない: 0% いいえ: 0% わからない: 0%	担当者会議で職員間で話し合い、具体的な支援目標を設定していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画を一覧にまとめ、職員全員で計画の内容を共有し、子どもに応じた日々の療育や学習を放課後等デイサービス計画に基づいて実施している。	はい：92.9% どちらともいえない：3.6% いいえ：3.6% わからない：0.0%	今後も全職員が放課後等デイサービス計画を日々の活動の中で共有し、子どもたちの適切な支援につなげる。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	曜日別のプログラムやイベントは担当と副担当を決めて内容を立案し、職員全体で会議を行い内容を精査している。		感染対策に取り組みながら、職員全体で協力しながら保護者や子どもたちが楽しめるプログラムやイベントを立案、実行していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	職員会議を行い、年間や月間の行事を決めており、平日、休日、長期休暇に応じた支援を実施している。		平日は曜日別のプログラムを行い、休日や長期休暇は活動時間が長いので、日頃できない支援を実施していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日別のプログラムを行っている。職員の配置や担当に応じて、プログラムの内容を随時変更し、固定化しないよう取り組んでいる。	はい：92.9% どちらともいえない：7.1% いいえ：0.0% わからない：0.0%	保護者から「はい」との回答も多かったため、今後もプログラムの内容が固定化しないよう工夫していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	例年通り、日々の朝礼で当日の流れについて話し合いを行い、非常勤の職員には送迎表、日案、人員配置表を使って支援内容や役割分担を説明している。		現在の取り組みを基本とし、職員間での情報共有や支援内容、役割分担を確認することで支援の円滑化を図る。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、毎回終礼(職員会議)を行い、その日の振り返りやヒヤリハット、現場の改善点などを職員で話し合っている。		今後も日々の反省を踏まえ、職員間で情報の共有化を行っていく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別の活動記録を職員が毎日記入し、課題やプログラム担当が日々の学習内容や参加の様子などを記録し、送迎時に職員から保護者に伝えている。		業務改善を図り、記録の電子化などを行い、職員の負担を減らしていった。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に担当者会議を行い、保護者とのモニタリングやアセスメントを実施し、保護者や職員間で放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。		新しい様式に変更し、放課後等デイサービス計画の見直しを円滑化した。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	各市町の相談事業支援事業所とモニタリング会議を通じて情報共有を行っている。学校とも必要に応じて情報共有を行っている。		現在の取り組みを継続しつつ、各関係機関との連携をより密にしていく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ、医療的なケアが必要なケースはなかった。		今後、医療的ケアが必要なケースに備え、関係機関との連携を進める。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ、医療的なケアが必要なケースはなかった。医師からの申し渡しを保護者から伝達があった時は、その都度対応している。		医療的ケアが必要なケースが出た際には、主治医や医療関係機関との連携体制を整える。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行の際には、各市町村の相談所や事業所と連携し、情報共有を行っている。		幼稚園や保育園での様子や現状を保護者や関係機関から聞き取り、情報共有を行うことで移行が円滑に行えるよう支援する。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	学校を卒業し障害福祉サービス事業所に移行する際には相談所を通じて作業所との情報共有を行った。		今後も障害福祉サービス作業所への移行がある場合は、相談所、事業所の方と連携し、支援内容などの情報共有を行っていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	代表者や担当者を中心に専門機関での研修に参加し、職員に伝達している。		研修会の開催情報などを全体で共有し、研修への参加の促進に努め、職員の質の向上を目指す。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	昨年同様コロナ禍ということもあり、放課後児童クラブや児童館、障害のない子どもと活動する機会を持つことが出来なかった。	はい：17.9% どちらともいえない：21.4% いいえ：21.4% わからない：39.3%	今後、機会があれば地域のコミュニティの活動に積極的に参加し、保護者にもその旨伝達する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	例年は、キャンプ等を通して地域や保護者と交流しているが、コロナ禍ということもあり、本年は実施できていない。		コロナ禍が収束すれば、行事等の実施・参加をすすめる。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時には、支援の内容を説明し、契約時には利用者負担等についての説明を行っている。利用者負担に変更が場合は、その都度連絡を行っている。	はい：96.4% どちらともいえない：3.6% いいえ：0% わからない：0%	今後も保護者に分かりやすい説明を心がける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎時や、会えない場合はお電話にて放課後等デイサービス計画の支援の内夜を説明している。	はい：100% どちらともいえない：0.0% いいえ：0% わからない：0%	保護者からは高い評価を100%を頂いているので、今後も保護者への支援内容の丁寧な説明を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者から連絡帳、LINE、お電話、送迎時にご相談いただいた際には、臨床心理士も入りながら支援を行っている。	はい：60.7% どちらともいえない：10.7% いいえ：3.6% わからない：25.0%	昨年よりは高い評価が向上しているので、今後より一層家族支援に努める。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	昨年同様、送迎の際に当日の子どもの様子や学習の取り組みなどを日々伝えている。その際、家庭や学校での様子を聞き取り、保護者との情報共有を行っている。	はい：96.4% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：3.6%	今後もより一層保護者や子どもの気持ちに寄り添って共通理解をすすめていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談に応じて、その都度、必要な助言や適切な対応を行っている。	はい：82.1% どちらともいえない：10.7% いいえ：0% わからない：7.1%	今後も保護者から要望があれば、適宜対応し、相談支援を行っていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	以前は、保護者会(勉強会)を定期的で開催していたが、コロナ禍の為、現在は開催できていない。	はい：25.0% どちらともいえない：32.1% いいえ：10.7% わからない：32.1%	今後のコロナ禍の状況を見定めて、保護者会の開催を進める。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情に関する案内を説明している。常時、LINEや電話等で苦情に関する内容を受け付けており、その都度、迅速に対応している。	はい：75.0% どちらともいえない：3.6% いいえ：0% わからない：21.4%	今後も保護者からの苦情やご意見に対して、即座に対応できるよう心掛ける。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時に学校の先生や保護者から、その日の子どもの様子を聞き取ったり、その日の子どもの様子を保護者に報告したりしている。	はい：96.4% どちらともいえない：3.6% いいえ：0% わからない：0.0%	情報伝達が出来ているとの評価を頂いているので、今後も継続して行っていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	昨年末まで紙媒体で会報を発行していた。今年からラインにて会報を発行している。活動や行事予定などもLINEやブログを用いて保護者へ情報を発信している。	はい：96.4% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：3.6%	保護者の方からほとんど「はい」を頂いているので、今後も保護者に分かりやすい活動概要や行事・連絡事項等の情報を発信していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行っている。利用者の個人情報が第三者に漏れないよう厳重に管理している。個人情報を使用する場合は、保護者に同意を得て、使用している。	はい：92.9% どちらともいえない：7.1% いいえ：0% わからない：0.0%	送迎時の説明の際に、他のお子様の氏名が見えることがあったので、そのようなことがないよう、全職員に周知し、今後より一層注意していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは全て策定し、職員間で周知徹底を行っている。感染対策は、来所時の体温チェックを行い、定期的に手洗いやアルコール消毒を行っている。保護者には、体調不良等があれば、速やかに申し出て頂く周知している。	はい：89.3% どちらともいえない：7.1% いいえ：0.0% わからない：3.6%	状況に応じて、マニュアルを改訂し、その都度、職員、保護者に周知徹底する。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	長期休暇に避難訓練を実施し、子どもたち全員が参加できるように保護者に連絡を行っている。子ども達には避難訓練以外にも防災動画や視覚支援を用いて避難方法などを分かりやすく伝えている。	はい：96.4% どちらともいえない：0.0% いいえ：0% わからない：3.6%	今後も、防災訓練を実施した際には、プログやLINE、送迎時に積極的に保護者に伝達する。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事業所内に虐待防止委員会を設置し、虐待の疑いがある場合は、毎月報告を行っている。虐待対応の研修にも参加している。		虐待防止委員会を中心に、継続して報告会を行い、見て見ぬふりのない風通しのよい職場環境を作る。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在のところ、当事業所は身体拘束を行ったことがない。		今後、必要な場合があった時は、その都度事業所内職員や子ども、保護者に十分説明し了承を受けた上で記載する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者からアレルギーの確認を行っている。その情報を元に、おやつ提供の際は適切な対応を行っている。		今後も継続して保護者と連携を行い、アレルギーに関する情報の共有していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例集及び事故報告書はその都度作成し、重要な事案は職員間で情報の共有を行っている。		今後もその都度作成し、事故防止の為に職員間で情報を周知徹底していく。